２５年度　指定管理者運営状況検証シート

県所管課	土木部道路都市局都市整備課

1. 施設名等

平成26年3月31日現在

施設名 （設置年月日）	道後公園 （明治21年6月26日）（平成14年4月1日　リニューアルオープン）	所在地 電話 HP	松山市道後公園 089-941-1480 http://www.dogokouen.jp/index.html

2. 指定管理者

指定管理者名	コンソーシアムGENKI （NPO法人TIES21えひめ、㈱愛媛庭園、㈱游亀）	指定期間	平成21年4月1日　～　平成26年3月31日	（５年間）

3. 施設の概要と指定管理者が行う業務等

設置目的	県民の憩い、安らぎの場とするとともに、湯築城跡を復元、保存、活用することにより中世の歴史を学べる施設として設置。	施設の外観
施設内容	主要施設 ○管理棟（資料館）１棟　271.00㎡　○復元武家屋敷2棟　160.88㎡ ○土塁8ヵ所　約120m　○土塁展示室　50.08㎡	
指定管理者が行う業務	①運営に関する業務 ②県立都市公園条例第6条の規定による公園の利用の禁止又は制限に関する業務 ③利用の許可に関する業務 ④利用に係る料金の収受に関する業務 ⑤利用者への便宜の供与に関する業務 ⑥利用の促進に関する業務 ⑦施設、附属施設及び備品の維持管理に関する業務 ⑧その他知事が定める業務	
施設の管理体制	名誉館長 ― 学芸員スタッフ 館長 ― 事務長 ― サポートスタッフ 職員スタッフ1 職員スタッフ2	
利用料金等	利用料金制　☑ 採用している　☐ 採用していない	
	前年度からの変更　☑ あり　☐ なし （変更ありの場合、その内容） 大型車（バス等）駐車場の利用料金は30分150円徴収する（前年度まで無料）	
開館日・開館時間	毎週月曜日（月曜日が休日の場合は、直後の休日でない日）は開館、12月29日から1月３日は臨時開館日としている。 午前9時から午後5時まで。	

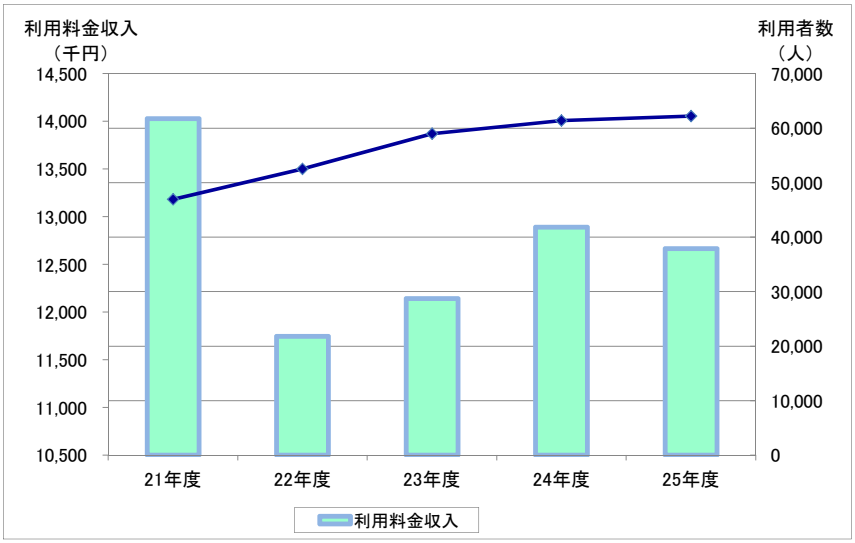
4. 指定管理業務に係る県の委託料（協定締結額）

年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
県委託料（千円）	48,000	48,000	48,000	48,000	48,000	49,468

5. 施設の利用状況

（1）施設の利用者数と利用料金収入

年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	対前年度増減率
利用者数(人)	46,909	52,517	58,982	61,403	62,219	1.3 %
利用料金収入(千円)	14,027	11,744	12,142	12,889	12,665	△ 1.7 %



（2）利用者数、利用料金収入の増減理由

対前年度増減率が±5%以上の場合、その理由
（利用者数） ― （利用料金収入） ―

6. サービスの質向上に向けた取組み

ア）サービス向上を図る主な取組み

（〇は指定管理者制度導入以降、継続的な取組み、☆は平成25年度の新たな取組み、※は利用者からの要望による取組み）

平成25年度の内容	平成26年度の内容（予定含む）
〇道後公園文化まつり(観月祭・お茶会・写真展他) 〇道後公園湯築市 〇湯築城歴史塾 〇道後公園門松作り講座 〇近隣住民大清掃 〇ゲートボール大会 〇ペットマナー啓発活動 〇日本の100名城指定の県内5城見学ツアーのための臨時開館(早朝対応) 〇防災減災訓練(防災かまどベンチ利用した炊き出し等) ☆湯築城出前教室事業(新たに紙芝居を使った湯築城の歴史教室を開催) ※カルチャー教室 ※魚つかみどり大会	〇道後公園文化まつり(観月祭・お茶会・写真展他) 〇道後公園湯築市 〇湯築城歴史塾 〇道後公園門松作り講座 〇近隣住民大清掃 〇ゲートボール大会 〇ペットマナー啓発活動 〇日本の100名城指定の県内5城見学ツアーのための臨時開館(早朝対応) 〇防災減災訓練(防災倉庫収蔵備品を使った訓練等) 〇湯築城出前教室事業(新たに紙芝居を使った湯築城の歴史教室を開催) ☆愛媛5名城（日本100名城）めぐりの普及活動参画 ☆観光客等リピーター誘致事業 ※カルチャー教室 ※魚つかみどり大会

イ）利用者からの声への25年度の対応状況

利用者からの評価や苦情・要望の主な内容	利用者からの苦情・要望への主な対応状況
河野氏の歴史のことが分かって楽しかった。 緑や花が多くて、綺麗だった。 街中なのに樹木が多く、綺麗だった。 ボランティアガイドの説明でここのことがよく分かった。 武家屋敷に人形がいて、驚いた。 ビデオの映像は迫力があって分かりやすかった。 消毒の時使用する薬剤の種類を知りたい。	ボランティアガイドによる案内・説明の質的な向上のため研修会を開催。 展示品の補充や展示替え。 ホームページに消毒の予定及び薬剤の明記。

7. 25年度実績に係る施設の利用状況及びサービスの質向上に向けた取組みに関する確認・検証

指定管理者の自己検証	県の施設所管課の確認・検証意見
・今年も資料館の質的向上を目指し継続的に事業に取り組んだ結果、資料館入館者数は横ばいであったが、総利用者数はグランド等利用者数アップで6年連続増となった。 ・サポートスタッフによる河野氏の紙芝居を観月祭で行い、好評を得た。 ・防災訓練は継続開催で年々参加者が地元の人々を中心に増加してきた。 ・公園内の注意書き等の看板を統一性のあるものに替え、景観に配慮した。	・指定管理者の創意工夫を凝らしたイベントの開催により、資料館の利用者数は年々増加している。 ・ボランティアガイド（サポートスタッフ）の研修会等を開催して資質向上を図るとともに、サポートスタッフによる出前教室や園内清掃、イベントの支援などを積極的に実施するなど、地域との交流にも努めている。 ・公園内の注意書き・案内板を統一性のある木製看板とするなどし、湯築城史跡として景観に配慮した施設管理に取り組んでいる。

8. 指定管理者制度の導入による効果と課題の検証

名誉館長の企画による「湯築城歴史塾」が好評であり、受講者が増加している。また、サポートスタッフによる「出前教室」の実施などにより歴史学習の場としてのニーズに応えるとともに、自主防災組織による地域の防災訓練の強化を図るなど安心・安全な公園づくりに取り組んでいる。

今後さらに道後公園の魅力を発信し、利用者の増加につなげていただきたい。